

8 平成 23 年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

平成 23 年度に中央図書館と 17 の地域図書館が目標として進めた事業の内容等と評価は次のとおりです。評価については 35 ページをご参照ください。

基本目標 : 横浜市立図書館は、社会情勢・環境の変化に対応し、市民生活を支援します。

基礎指標	入館者数(対前年度比同数) 8,304,188 人(95.9%) 新規登録者数(対前年度比同数) 75,540 人(94.1%) 貸出冊数(対前年度比同数) 11,366,869 冊(96.7%) レファレンス受付件数(対前年度比同数)251,336 件(106.9%)
------	--

目標 1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。 <サービス目標>

取組項目	具体的取組	達成状況	指標達成値	評価
蔵書再構成5か年計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●参考図書や需要の多い定番図書など市民の課題解決に役立つ資料を重点的に収集します。 ●寄贈図書の受け入れを積極的に推進します。 ●電子媒体による資料の公開を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●計画的な収集を進め全館で蔵書の見直しを行いました。 ●リユース文庫やイベント等での呼びかけのほか、市職員からの寄贈等を積極的に募るなど寄贈のさまざまな手法を検討し実践しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●寄贈図書の受入冊数 41,785 冊 (106.9%) ●「都市横浜の記憶」の公開資料数 9,148 点 (115.1%) 	B
子ども読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども読書活動の支援を充実するため、おはなし会やブックトークなどの企画事業を実施します。 ●保護者・保育者等対象者に応じた読み聞かせ講習会を開催します。 ●学校図書館の運営や、学校ボランティア等の支援を行います。 ●児童サービスの向上のために、司書を対象とした児童サービス研修を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童サービス 5 か年計画に基づき、全館でおはなし会や調べ学習の支援を実施しました。 ●司書を対象とした研修を行い、サービスの向上に努めました。 ●教職員向けの研修に講師を派遣するなど学校図書館支援を全館で実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会等の実施回数 1,289 回 (122.1%) ●児童書の貸出冊数 3,362,755 冊 (97.1%) ●読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施回数 75 回 (187.5%) ●教職員向け貸出冊数 (セット貸出含む) 27,975 冊 (118.4%) 	A
市民の学習活動・課題解決の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●レファレンス体制を整備し、市民の課題解決を支援します。 ●大学・研究機関・関係局区等との連携を進め、市民向け講座や企画展示等を実施します。 ●市民の図書館活用を進めるため、館内利用者用検索機使い方講座や図書館見学ツアーを開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●レファレンスサービス向上プログラムを策定し、レファレンス体制の強化をはかりました。 ●大学、研究機関等と協力し講座や講演会を実施しました。 ●検索機使い方講座を実施し市民が必要な情報を得るための技術習得を支援しました。 	市民向け講座・企画展示の実施 (講演会・講座 55 回、検索機講座 42 回、企画展示 158 回)	B

取組項目	具体的取組	達成状況	指標達成値	評価
地域情報の収集・提供の推進	地域の情報拠点として地域資料を積極的に収集し、市民生活に役立つ情報を提供します。	地域の資料に留意して積極的に収集し、郷土資料コーナーを充実させました。また地域情報コーナーの開設・郷土の歴史講座等の実施などを通して、地域の情報を市民に発信しました。		B
地域と連携した読書推進活動の充実	読書施設の運営相談を行うとともに、地域で活動するボランティアを支援するための講座を実施します。	ボランティア講座を全館で講師派遣も含めて72回実施し、地域のボランティアの活動を支援しました。		B
多文化サービスの展開	市民と協働して外国語のおはなし会等、外国につながる子どもたちが参加できる企画事業を実施します。	外国語のおはなし会等を中央・中・磯子・金沢・港北・泉図書館で開催しました。また地域の特性に応じた外国語資料の収集を積極的に進めました。		B
市民協働の推進	図書館で活動するボランティアの支援や育成を行い、市民協働を支援します。	修理・書架整理等ボランティアを募集・育成し市民協働を積極的に推進しました。		C

目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。 <管理運営目標>

取組項目	具体的取組	達成状況	指標達成値	評価
司書人材育成計画に基づく人材育成の推進	「司書人材育成計画」等に基づき、司書の専門性向上と人材育成に係る研修等を計画的に実施します。	司書職員のための基礎的・専門的な研修を行いました。また外部研修にも積極的に参加し自己研さんに努めました。	基礎研修及び専門研修の実施 45回(150%)	B
地域図書館の管理運営手法の総合的検討	<ul style="list-style-type: none"> ●山内図書館指定管理者運営評価委員会を開催します。(中央図書館、年4回程度) ●都筑図書館、戸塚図書館の司書補助業務委託導入館に係る評価手法の検討をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●山内図書館指定管理者運営評価委員会を4回開催して、指定管理者による平成22年度の山内図書館運営を評価し、今後の市立図書館の参考となる指標を報告書にまとめ公表しました。 ●司書補助業務を委託化した地域図書館2館の運営評価に係る評価基準、指標等を検討して、評価シート案を作成し当該図書館に提示しました。 		B

取組項目	具体的取組	達成状況	指標達成値	評価
自主財源の確保及び経費の節減	新たな財源確保や運営費の節減を図るため、広告事業による玄関マットの設置等に取り組みます。	玄関マット、図書館情報紙「@Lib」、中央図書館雑誌カバー等への広告導入を新たに実施しました。	広告導入等による歳入確保額および節減額 9,919千円 (90.7%)	C
市民の意見が反映される仕組みづくり	利用者懇談会・ボランティア団体等の交流会等について、地域図書館全館での実施を推進します。	懇談会や交流会等、図書館を利用している市民との各種会議を、地域図書館において年間で各館1回以上、計79回実施しました。		C
次期図書館情報システム導入に向けた検討	平成22年度に実施した基本設計に基づき、詳細設計を実施します。	基本設計を基にして、利用者ニーズを反映させた詳細設計を実施しました。		B
身近で便利な図書館サービスの充実についての検討	駅における図書館サービス機能・条件等の基礎調査を実施します。	基礎調査では、駅における図書館サービスの基本的機能や効果的な市内の交通拠点駅を整理し報告書にまとめ、施設整備上の課題や効率的な運営手法を検討しました。		B
図書館の設備改修・改善や耐震補強	港北図書館の耐震補強・再整備事業に向けて、基本設計を実施します。	関係局区と調整し基本設計を完了しました。		C
市立図書館における業務内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ●次期図書館情報システム導入に向けて、全館サービス調整会等での課題抽出、手順の見直し検討に取り組みます。 ●関係課と連携して、次期システムを見据えた業務改善策を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全館サービス調整会等を実施し、課題の抽出と共有化を図りました。 ●利用者サービスの向上と業務の効率化に向けた検討を進めました。 		C



目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。

<独自目標>

取組項目	具体的取組	達成状況	指標達成値	評価
市民への広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報媒体を効果的に活用し、わかりやすい情報提供に努めます。 ● わかりやすく迅速に情報を提供できるホームページづくりに努めます。 ● メールマガジンの活用をし、各図書館の情報発信に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 記者発表等を積極的に行い、新聞・ミニコミ紙・ケーブルTV等で掲載・放映されました。 ● ホームページの作成に全庁的なシステムを導入した結果、迅速な更新作業ができるようになりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 記者発表数 52件 (96.3%) ● 広報掲載実績 359件 (126.4%) ● ホームページアクセス件数 7,493,393件 (92.9%) 	B
市立図書館創立90周年記念事業実施	90年という歳月を市民と共に振り返るためのイベントや企画展示を開催します。	11館で企画展示を、また中央図書館でパネルディスカッション等を、金沢・港北・緑・都筑・戸塚・栄図書館で講演会を実施し、市民と共に歩んだ図書館の90年を振り返りました。		A
「地域情報発信のための基盤整備プロジェクト」実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域図書館で収集した地域情報をデジタル化し、ホームページで公開します。 ● モデル事業を通して、全館での実施を検討します。 	鶴見・港北・緑・都筑・戸塚図書館で地域情報のデジタル化を行いホームページで公開しました。また今後の継続的な事業実施について検討しました。		B
市立図書館における業務内容の見直し	委託業務のより効率的な運用を進めます。	委託業務内容を整理し効率的な運用を進めました。		C
利用しやすい図書館環境の整備	利用者への挨拶や相談窓口での丁寧な対応を行います。	挨拶・声かけの励行を進め、接遇の向上に努めました。		C

※ 取組の評価について

評価は、図書館内の内部評価です。()内は、前年度比です。

評価	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果があった。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果を上げることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。